

令和 6 年 度

若手教員研修
(2 年 目 研 修)
研修の手引き

福井県教育委員会

勤務校	職名
氏名	

1 実施要項

1 目的

主体的・対話的で深い学びを実践するための指導力の向上を図るとともに、多様なものの見方や考え方を身につける。

2 実施主体

福井県教育委員会

3 実施期間

実施期間は令和6年度の1年間とする。

4 対象者

- (1) 令和5年度に採用された小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の教員で、初任者研修を受講した者とする。ただし、養護教諭および栄養教諭は除く。
- (2) 当該年度に長期の休暇（休業）を取得することがすでに明らかな場合は、原則として休暇（休業）明けに受講すること。なお、受講年度途中で長期の休暇（休業）を取得することになった場合は、受講可能な研修を受講し、残りは休暇（休業）明けに受講することとする。いずれの場合も、休暇（休業）からの復帰時期によっては、翌年度の受講となる。

5 実施計画

【小学校】

コード	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場		備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス			
211	学習指導	授業実践研究Ⅱ (授業実践研究の意義と方法)	<嶺北> 5月9日(木) 9:30~16:00 教育総合研究所	<嶺南> 5月10日(金) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	p.4 参照
221	生徒指導 マネジメント	学級運営① ※事前視聴 通信型研修 G203 「保護者との関係づくり」			
254	学習指導	I C Tタブレット活用	6月24日(月) 13:30~16:30 オンライン		別途 通知
213	学習指導	教科別研修Ⅱ	各自選択・申込		p.5 参照
G230	素養	通信型研修 G230「人権教育」	9月20日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に入力		p.7 参照
261a	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	下記6日のうち1日選択 10月 17日(木) 嶺南教育事務所 22日(火) あいばく今立(越前市) 31日(木) 教育総合研究所 11月 1日(金) 教育総合研究所 6日(水) 教育総合研究所 7日(木) 教育総合研究所 いずれも 13:30~16:30		p.5 参照 別途 通知

212	学習指導	授業実践研究Ⅲ (授業実践研究の振り返りと 今後の進め方)	下記3日のうち1日選択 1月17日(金) 21日(火) 29日(水) いずれも13:30~16:30 オンライン ※特別支援学級担当者は 原則として1月21日(火)	p.5 参照 別途 通知
291	素養 連携・協働 福井の力	ボランティア活動	各自計画・実施	p.6 参照

【中学校】

コード№	育成指標分類	研修名(研修内容)	実施日時・会場		備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を 担う教師の学び 研修ガイダンス			
211	学習指導	授業実践研究Ⅱ (授業実践研究の意義と方法)	<嶺北> 5月14日(火) 9:30~16:00 教育総合研究所	<嶺南> 5月10日(金) 9:30~16:00 嶺南教育事務所	p.4 参照
221	生徒指導 マネジメント	学級運営① ※事前視聴 通信型研修 G203 「保護者との関係づくり」			
254	学習指導	I C T タブレット活用	6月24日(月) 13:30~16:30 オンライン		別途 通知
214	学習指導	主体的・対話的で深い学びの指導と評価	8月21日(水) 9:30~16:00 オンライン		別途 通知
G230	素養	通信型研修 G230「人権教育」	9月20日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に <input type="checkbox"/>		p.7 参照
261a	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	下記6日のうち1日選択 10月17日(木) 嶺南教育事務所 22日(火) あいはらこ今立(越前市) 31日(木) 教育総合研究所 11月1日(金) 教育総合研究所 6日(水) 教育総合研究所 7日(木) 教育総合研究所 いずれも13:30~16:30		p.5 参照 別途 通知
212	学習指導	授業実践研究Ⅲ (授業実践研究の振り返りと 今後の進め方)	下記3日のうち1日選択 1月17日(金) 21日(火) 29日(水) いずれも13:30~16:30 オンライン ※特別支援学級担当者は 原則として1月21日(火)		p.5 参照 別途 通知
291	素養 連携・協働 福井の力	ボランティア活動	各自計画・実施		p.6 参照

【高等学校】

コード№	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場	備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス		
211	学習指導	授業実践研究Ⅱ （授業実践研究の意義と方法）	＜嶺北＞ 5月14日（火） 9:30～16:00 教育総合研究所	p.4 参照
221	生徒指導 マネジメント	学級運営① ※事前視聴 通信型研修 G203 「保護者との関係づくり」		
254	学習指導	I C Tタブレット活用	6月24日（月） 13:30～16:30 オンライン	別途 通知
214	学習指導	主体的・対話的で深い学びの指導と評価	8月21日（水） 9:30～16:00 オンライン	別途 通知
G230	素養	通信型研修 G230「人権教育」	9月20日（金）までに受講 校外研修の記録・報告書を入力	p.7 参照
261a	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 （初任者・2年目・3年目の クロスセッション）	下記6日のうち1日選択 10月17日（木）嶺南教育事務所 22日（火）あいばーく今立（越前市） 31日（木）教育総合研究所 11月1日（金）教育総合研究所 6日（水）教育総合研究所 7日（木）教育総合研究所 いずれも13:30～16:30	p.5 参照 別途 通知
212	学習指導	授業実践研究Ⅲ （授業実践研究の振り返りと 今後の進め方）	下記3日のうち1日選択 1月17日（金） 21日（火） 29日（水） いずれも13:30～16:30 オンライン	p.5 参照 別途 通知
291	素養 連携・協働 福井の力	ボランティア活動	各自計画・実施	p.6 参照

【特別支援学校】

コード№	育成指標分類	研修名（研修内容）	実施日時・会場	備考
—	—	「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 研修ガイダンス		
211	学習指導	授業実践研究Ⅱ （授業実践研究の意義と方法）	＜嶺北＞ 5月14日（火） 9:30～16:00 教育総合研究所	p.4 参照
221	生徒指導 マネジメント	学級運営① ※事前視聴 通信型研修 G203 「保護者との関係づくり」		
254	学習指導	I C Tタブレット活用	6月24日（月） 13:30～16:30 オンライン	別途 通知
282	生徒指導	特別支援教育研修	各自選択・申込	p.5 参照

G230	素養	通信型研修 G230「人権教育」	9月20日(金)までに受講 校外研修の記録・報告書に <input/>	p.7 参照
261a	学習指導 連携・協働	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目の クロスセッション)	下記3日のうち1日選択 10月31日(木) 特別支援教育センター 11月7日(木) 特別支援教育センター 14日(木) 特別支援教育センター いずれも 13:30~16:30	p.5 参照 別途 通知
281	学習指導	授業実践研究Ⅲ (授業実践研究の振り返りと 今後の進め方)	1月29日(水) 13:30~16:30 オンライン	p.5 参照 別途 通知
291	素養 連携・協働 福井の力	ボランティア活動	各自計画・実施	p.6 参照

2 授業実践研究

授業力向上のためには、実践と省察を継続して行う必要がある。そこで、2年目研修では初任時の成果と課題をふまえ、各自が「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れたテーマで授業実践研究に取り組むことを研修の中心とする。

[授業実践研究の進め方]

授業実践を記録することにより、指導の妥当性や課題を検討することができる。それをもとに授業の改善を繰り返すことで、教員の力量は高められていく。こうした年間を通した取組みが、3年目研修の授業実践研究につながり、学び続ける教員の土台となる。

まずは5月の「授業実践研究Ⅱ（授業実践研究の意義と方法）」で、各自が授業実践研究の概要（案）を持ち寄り、グループ協議を経てテーマと研究のねらいを明確にする。その上で、授業実践の概要を完成させる。

各学校での実践では、児童・生徒の発言や行動などの事実、それに対する教員の対応等を記録し、省察を行う。このサイクルを繰り返し、10、11月の「授業実践研究の共有（クロスセッション）」で発表し、グループ協議を通して実践研究や思いを共有することで、幅広い学びを獲得する。この年間を通した取組みの成果と課題を、1月の「授業実践研究の共有Ⅲ（授業実践研究の振り返りと今後の進め方）」で共有し、3年目の実践につなげることになる。

3 各研修の受講について

[研修資料のダウンロードについて]

研修資料は、研修日の2日前から教育総合研究所ホームページ→「P l a n t」→「研修申込状況」→「【2年目研修】No.〇〇〇」→「格納資料一覧」よりダウンロードが可能となる。当日は、印刷して持参するか、各自の端末で閲覧できるようにしておく。

※詳しくは「P l a n t」TOP画面に掲載予定の「マニュアル」を参照

1 授業実践研究Ⅱ、学級経営①（コードNo.211、221）

(1) 期日・会場

嶺北小学校勤務者	5月9日(木)	教育総合研究所
嶺南小・中学校勤務者	5月10日(金)	嶺南教育事務所
嶺北中学校、高等学校、特別支援学校勤務者	5月14日(火)	教育総合研究所

(2)当日の日程

受付 9:00～9:20 研修 9:30～16:00

(3)当日の準備物

- ・若手教員研修（2年目研修）の手引き
- ・学級運営指導書「通うのが楽しい学級づくり」
- ・レポート「授業実践研究の概要（案）」7部（両面印刷）
- ・名札
- ・「令和5年度 初任者研修 教育実践研究 最終報告レポート集」（特別支援学校勤務者のみ）

(4)授業実践研究に関する調査

担当学年等について次のURLまたは右のQRコードから回答する。

【URL】 <https://forms.gle/WSofDmWp8oSt3XRx7>

【回答締切】令和6年4月22日（月）



(5)その他

事前に通信型研修 G203「保護者との関係づくり」を視聴して受講すること。

2 授業実践研究の共有（クロスセッション コード No.261a）および授業実践研究Ⅲ（小中高コードNo.212、特別支援コードNo.281）

(1) 受講希望日の調査について 【回答締切】令和6年5月31日（金）

受講希望日（第1希望、第2希望）について、次のURLまたは右のQRコードから回答すること。事前に行事予定等を確認し、必ず管理職と相談してから回答すること。

※授業実践研究Ⅲにおいて小・中学校特別支援学級担当者は、原則として、

1月21日（火）で回答すること。特別支援学校勤務者は、1月29日（水）に設定しているため、調査の対象としない。

【URL】 <https://forms.gle/WTrkH8CWXXqLgGaK6>

なお、受講決定日は、教育総合研究所から別途文書で通知する。



(2)当日の日程

受付 13:00～13:20 研修 13:30～16:30

(3)当日の準備物

No.261a 授業実践研究の共有： レポート「授業実践研究の中間まとめ」7部

No.212・281 授業実践研究Ⅲ： レポート「授業実践研究のまとめ」当日画面共有

3 教科別研修Ⅱ（コードNo.213）および特別支援教育研修（コードNo.282）

【小学校】

教科別研修Ⅱは、管理職と相談の上、教育総合研究所が主催する下記5講座から1講座を選択し、各自で申し込む。

<講座>

- ・C002 小学校国語科書写研修講座
- ・C401 小学校音楽科研修講座
- ・C431 小学校図画工作科研修講座
- ・C501 小学校家庭科研修講座
- ・D001 総合的な学習の時間（プログラミング教育）研修講座

<申込方法>

教育総合研究所ホームページ → 「P l a n t」より申し込む。

※受講方法の詳細は「P l a n t」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」を参照

<申込期間> 5月15日(水)～研修実施1週間前

※各講座には募集定員があるため、定員に達した場合は、空いている講座を選択すること。

【特別支援学校】

特別支援教育研修は、特別支援教育センターが主催する令和6年度研修講座から1講座を選択し、各自で申し込む。

<申込方法>

教育総合研究所ホームページ → 「P l a n t」より申し込む。

※受講方法の詳細は「P l a n t」TOP画面の「お知らせ通知受信一覧」を参照

<申込期間> 4月22日(月)～6月28日(金)

4 ボランティア活動(コードNo.291)

(1)目的

教職以外の非営利団体による様々なボランティア活動を計画・実施することを通して、社会に主体的に参画し、地域との連携・協働のネットワークを形成するとともに、視野を広げ多様な考え方を知り、一般市民としての素養を養う。また、活動から学んだことを学校生活の中で活かしていくことで教員としての力量向上を図る。

(2)実施期間

上記の目的に沿った活動(3時間程度)を計画し、冬期休業終了までに実施すること。

(3)実施施設・機関・団体(以下「活動先」)の選定について

活動先の選定については、以下のことに留意して行うこととする。

- ・教員の活動先として、体験内容等が目的に照らして適切であること。
- ・活動の目的を理解し、積極的に受け入れていただけること。
- ・受講者の生活地域や勤務校の近隣地域で実施される奉仕活動等への参加が好ましい。

(4)計画・実施における手順

①対象者は、管理職と相談の上、活動先と連絡をとり、趣旨説明と受け入れの打診をする。

②学校長は、ボランティア活動の意義をふまえ、ボランティア活動の許可をする。

③活動先へ、依頼文書(各学校の様式)を送る。

④活動先へ出向いて、挨拶と活動についての確認を行う。

⑤確認後、下記の内容を教育総合研究所ホームページ → 「P l a n t」 → 「研修申込状況」 → 「【2年目研修】No.291」 → 「課題・アンケート一覧」から回答する。

・研修日時 ・研修先 ・研修内容

⑥ボランティア活動を実施する。

※活動先への礼状は、学校裁量とする。

⑦活動後、1週間以内に「ボランティア活動報告書」(様式3)を提出する。

<様式>

教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」 → 「基本研修・職務研修」よりダウンロードする。

<記入上の注意>

活動日が複数日にわたる場合は、「活動期日 活動時間」欄に下記のように記入する。

(記入例) 8月1日(木) 9:30～11:00

8月2日(金) 15:00～16:30

<提出方法>

教育総合研究所ホームページ → 「P l a n t」 → 「研修申込状況」 → 「【2年目研修】 No.291」 → 「課題・アンケート一覧」から提出する。

ファイル形式：PDF形式

ファイル名：職員番号（6桁半角）【勤務校略称_氏名（フルネーム）】2年目研_ボランティア

例) 012345【福井小_春江太郎】2年研_ボランティア

<締切>令和7年1月17日（金）

5 通信型研修（コードNo.G230）

コードNo.	内容（講座タイトル）	配信開始日	受講期限
G230	「人権教育」	8月下旬	9月20日（金）

教育総合研究所ホームページ「P l a n t」 → 「研修申込状況」 → 「【2年目研修】G230」より動画を視聴後、「振り返り」を入力する。「振り返り」の内容を必ず「校外研修の記録・報告書」の概要・感想・成果の活用等に転記する。※コピー&ペーストが可能

6 その他

教育総合研究所ホームページにある「研修・会議参加に際しての留意事項」を下記URLもしくは右のQRコードより確認して研修に臨むこと。

[URL] <https://x.gd/6ISc0>



4 提出書類等

1 校外研修の記録・報告書（様式4）

様式は教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」 → 「基本研修・職務研修」からダウンロードし、下記の手順で作成する。（作成したものは必ず管理職と共有すること。）

(1) 「校外研修の記録・報告書」の作成

毎回の研修終了後に受講日および会場、概要・感想・成果の活用等を入力する。

- 通信型研修は、受講後に受講日および、概要・感想・成果の活用等を入力する。

※受講の方法や期限は上記の3)5「通信型研修」を参照。

- ボランティア活動は、活動後に活動日および研修先を入力する。

※活動日が複数日にわたる場合は、「研修先・特記事項」欄に下記のように入力する。

（入力例）8月1日（木） 9:30～11:00

8月2日（金） 15:00～16:30

その他、特記事項がある場合は入力する。

※実施の方法や実施期間は上記の3)4「ボランティア活動」を参照。

(2) 提出方法

1年間の研修終了後、p.8 [提出経路] に従いデータを管理職を通じてメールにて提出する。

※延期願を提出した研修については、該当研修の欄に「次年度に延期」と入力する。

※年度途中で研修を受講できなくなった場合は、その時点での記録・報告書のデータを提出する。

ファイル形式：PDF

ファイル名：【勤務校略称_氏名（フルネーム）】2年目研_記録・報告書

締切：市町小・中学校・・・・・・・・・・・・・・・・令和7年2月28日（金）

高等学校、県立中学校・・・・・・・・・・・・・・・・令和7年3月7日（金）

特別支援学校・・・・・・・・・・・・・・・・令和7年2月28日（金）

2 諸届

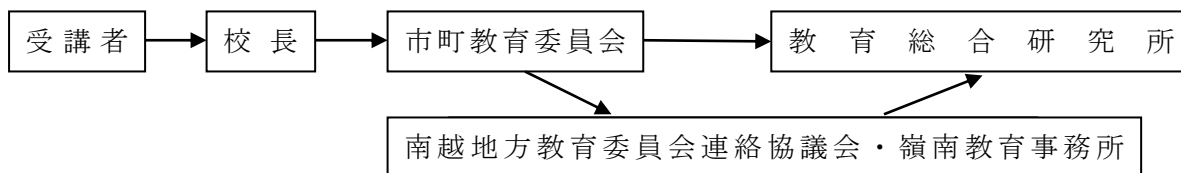
次のものは、事前に管理職を通じて教育総合研究所に問い合わせた上で、必要に応じて校長が作成し、下記[提出経路]に従ってデータをメールにて提出する。様式は、教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「共通様式」よりダウンロードする。提出時のファイル形式はPDFとする。※特別支援教育センターに提出する場合は、宛名に「特別支援教育センター所長」も併記する。

「欠席届」(共通様式1)・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合

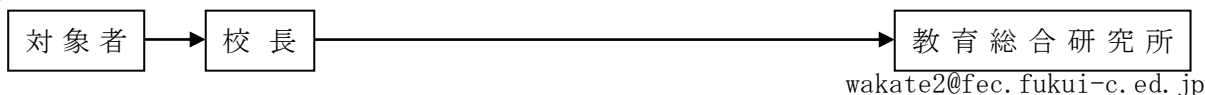
「延期願」(共通様式2)・・・受講が次年度以降になる場合

[提出経路]

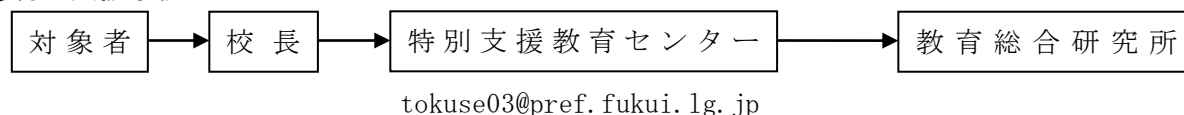
○市町小・中学校



○高等学校、県立中学校、その他



○特別支援学校



3 レポート

様式は教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」よりダウンロードする。

- (1) 「授業実践研究の概要(案)」(様式1) A4判たて、1ページ程度
コードNo.211のグループ協議時に、7部持参する。
- (2) 「授業実践研究の概要」(様式1) A4判たて、1ページ程度
コードNo.211で得たことを踏まえて作成し、5月31日(金)までに下記のとおり提出する。
(提出方法)
教育総合研究所ホームページ → 「P l a n t」 → 「研修申込状況」 → 「【2年目研修】No.〇〇〇」 → 「課題・アンケート一覧」から提出する。
※詳しくは「P l a n t」TOP画面に掲載予定の「マニュアル」を参照
ファイル形式：PDF
ファイル名：職員番号(6桁半角)【勤務校略称_氏名(フルネーム)】概要
例) 012345【福井小_春江太郎】概要
- (3) 「授業実践研究の中間まとめ」(様式2) A4判たて、3ページ程度
10月3日(木)までに(2)と同様の提出方法で提出する。
ファイル形式：PDF
ファイル名：職員番号(6桁半角)【勤務校略称_氏名(フルネーム)】中間まとめ
コードNo.261a「授業実践研究の共有」の際に7部持参する。
- (4) 「授業実践研究のまとめ」(様式2) A4判たて、5ページ程度
コードNo.261a「授業実践研究の共有」におけるグループ協議での学びや11～1月の実践等を追記して作成する。コードNo.212 授業実践研究Ⅲ(特別支援学校はコードNo.281)の際に、オンライン上で画面共有する。受講後、一週間以内に(2)と同様の提出方法で提出する。
ファイル形式：PDF
ファイル名：職員番号(6桁半角)【勤務校略称_氏名(フルネーム)】まとめ

